

**平成26年8月期(50期) 第3四半期決算補足資料**

---

**平成26年7月3日**

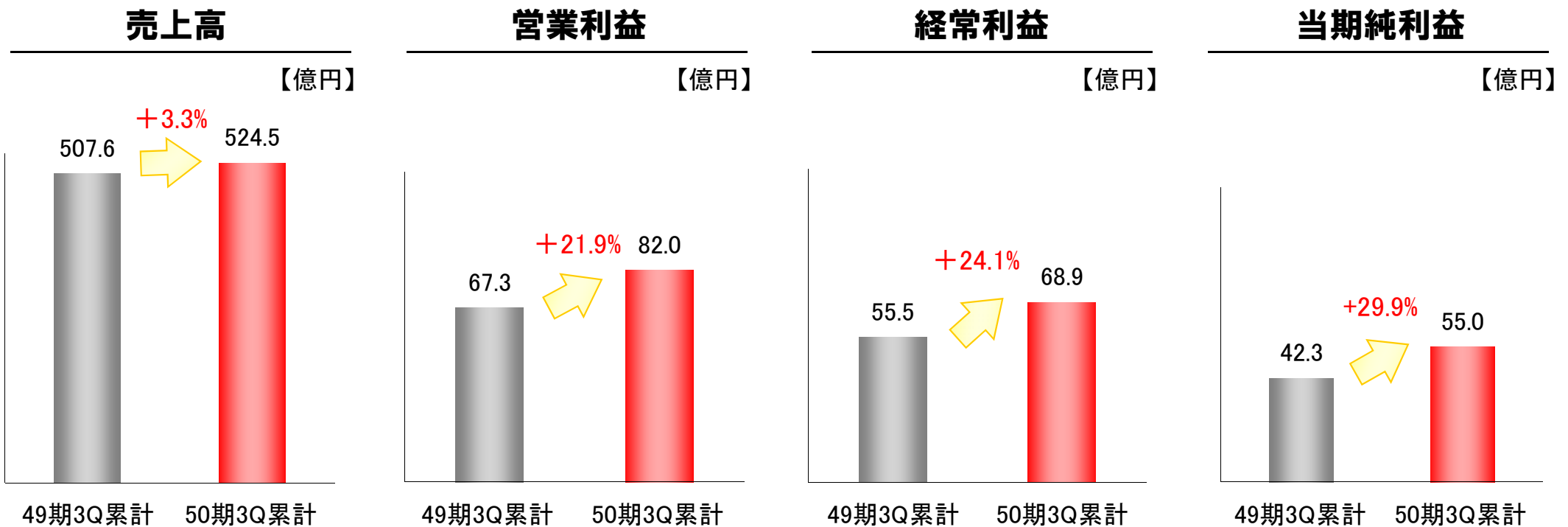


# 目次

<b>1. 業績関連</b>	...	<b>P2</b>
<b>2. 財務／経営指標関連</b>	...	<b>P8</b>
<b>3. 事業関連</b>	...	<b>P13</b>
<b>4. 第3四半期TOPIX</b>	...	<b>P17</b>
<b>5. 免責事項</b>	...	<b>P21</b>

# || 業績関連 || 50期第3四半期連結業績(累計/前期対比)

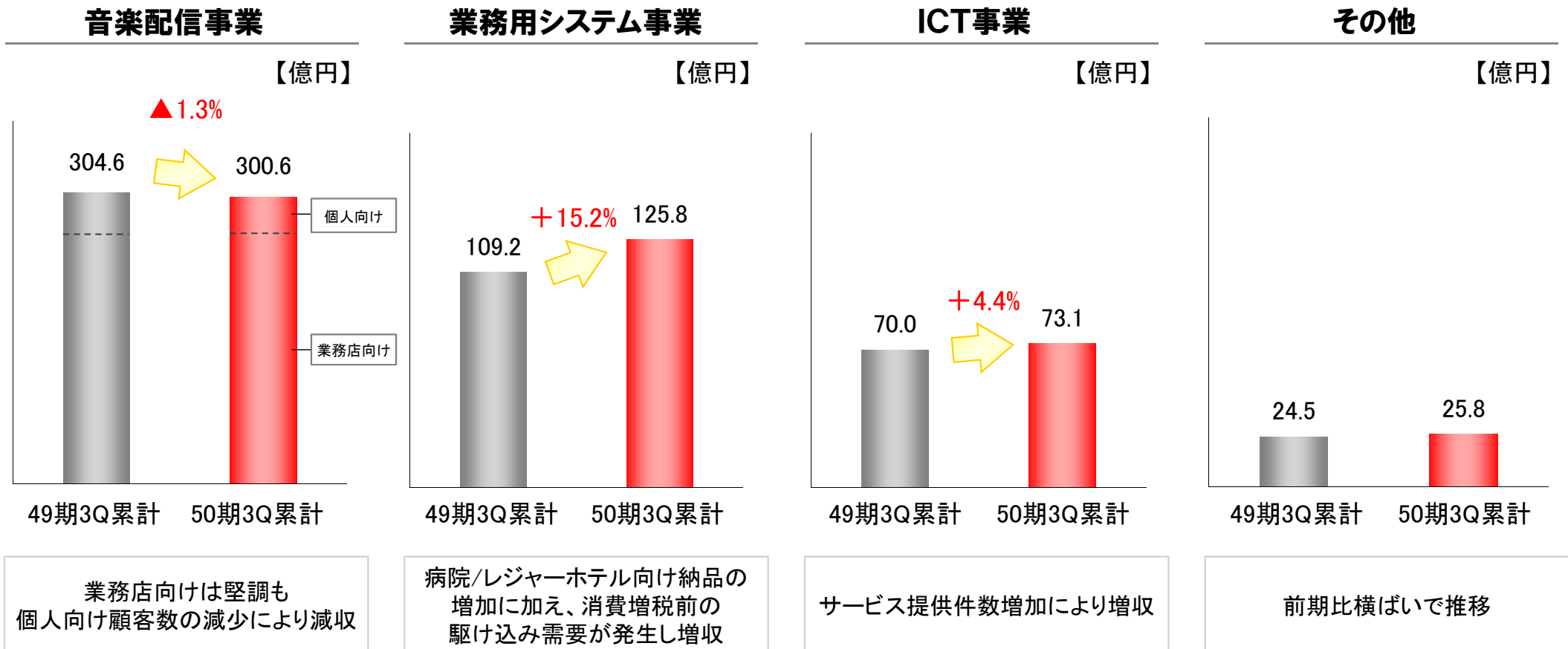
- ・ 売上高は、主に業務用システム事業において4月の消費税増税前の駆け込み需要が発生、その他各事業も堅調に推移した結果、第2四半期時点よりも増収幅は拡大
- ・ 当第3四半期においてリファイナンスを含む財務・資本施策関連コストを計上したものの、営業利益、経常利益、当期純利益の各段階利益は前年同期比で20%~30%の大幅増益を達成



※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

# || 業績関連 || 50期第3四半期経営成績(累計/前期対比)

## セグメント別 売上高



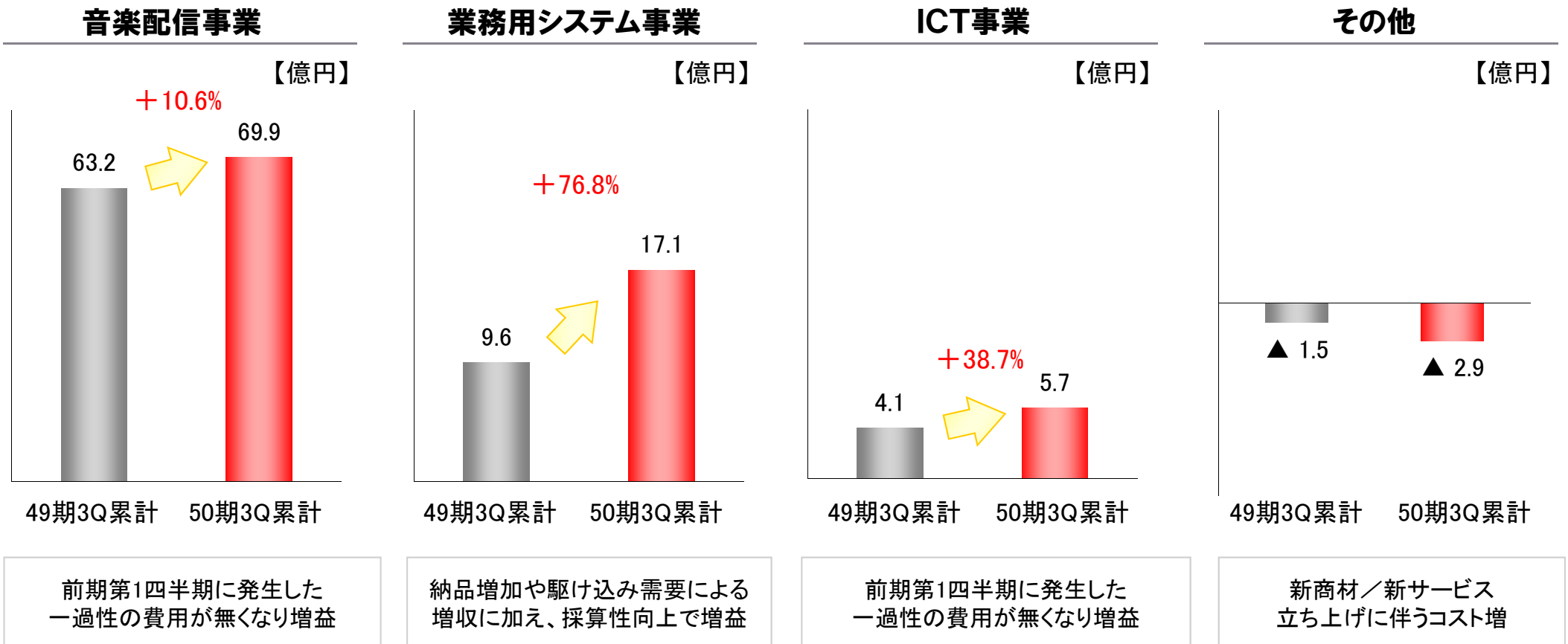
(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

※ 49期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と△0.8億円の調整を行っております

※ 50期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と△0.9億円の調整を行っております

# || 業績関連 || 50期第3四半期経営成績(累計/前期対比)

## セグメント別 営業利益



※ 49期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と△8.2億円の調整を行っております

※ 50期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と△7.8億円の調整を行っております

# || 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

【単位:億円】	3Q累計実績 (A)	通期予想 (B)	通期進捗率 (A÷B)
売上高	524.5	685.0	76.6%
営業利益	82.0	87.0	94.4%
経常利益	68.9	73.0	94.5%
当期純利益	55.0	50.0	110.1%

売上高はほぼ予想通りで推移、  
営業利益／経常利益は当四半期時点で90%超の進捗、  
当期純利益は通期予想を上回って着地

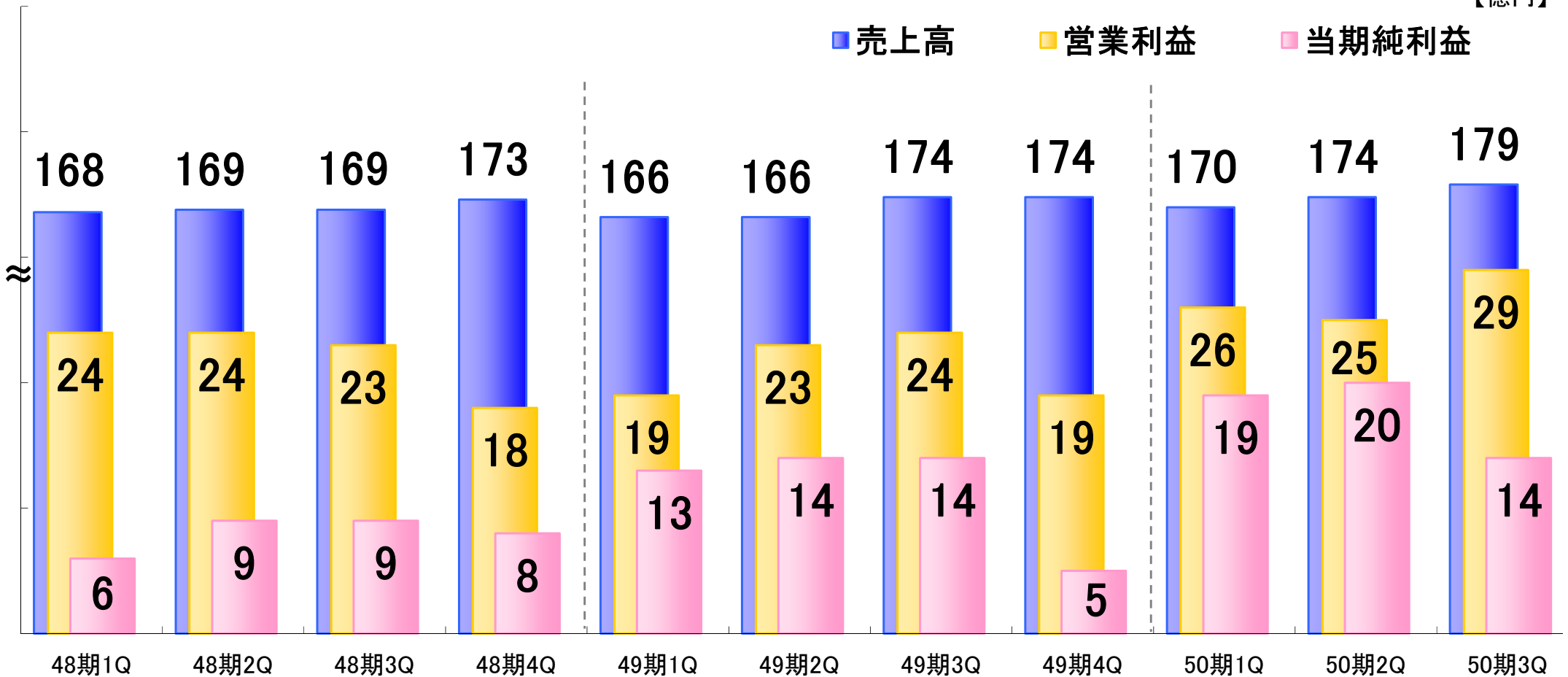
# || 業績関連 || 業績予想の上方修正

	前回予想 (A)	今回予想 (B)	修正額 (B-A)	3Q累計実績 (C)	進捗率 (C÷B)
【単位:億円】					
売上高	685.0	685.0	±0	524.5	76.6%
営業利益	87.0	95.0	+8	82.0	86.4%
経常利益	73.0	80.0	+7	68.9	86.2%
当期純利益	50.0	60.0	+10	55.0	91.7%

当第3四半期の業績進捗を踏まえ、  
上記の通り通期予想の上方修正を実施

# 業績関連 連結経営成績推移

【億円】



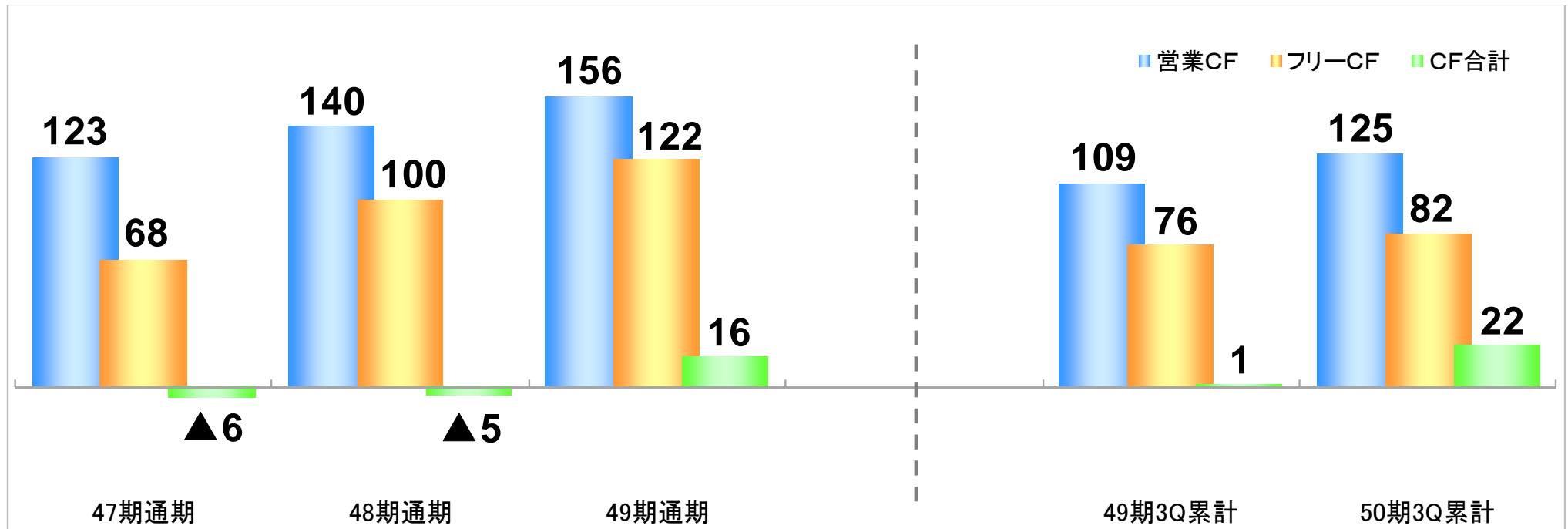
当四半期売上高、営業利益は消費増税前の駆け込み需要等もあり大幅に増加、  
当期純利益は財務・資本施策関連の一過性コスト計上によりやや弱含みも前年同期と同水準

※ 各数値は端数切捨て



# || 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



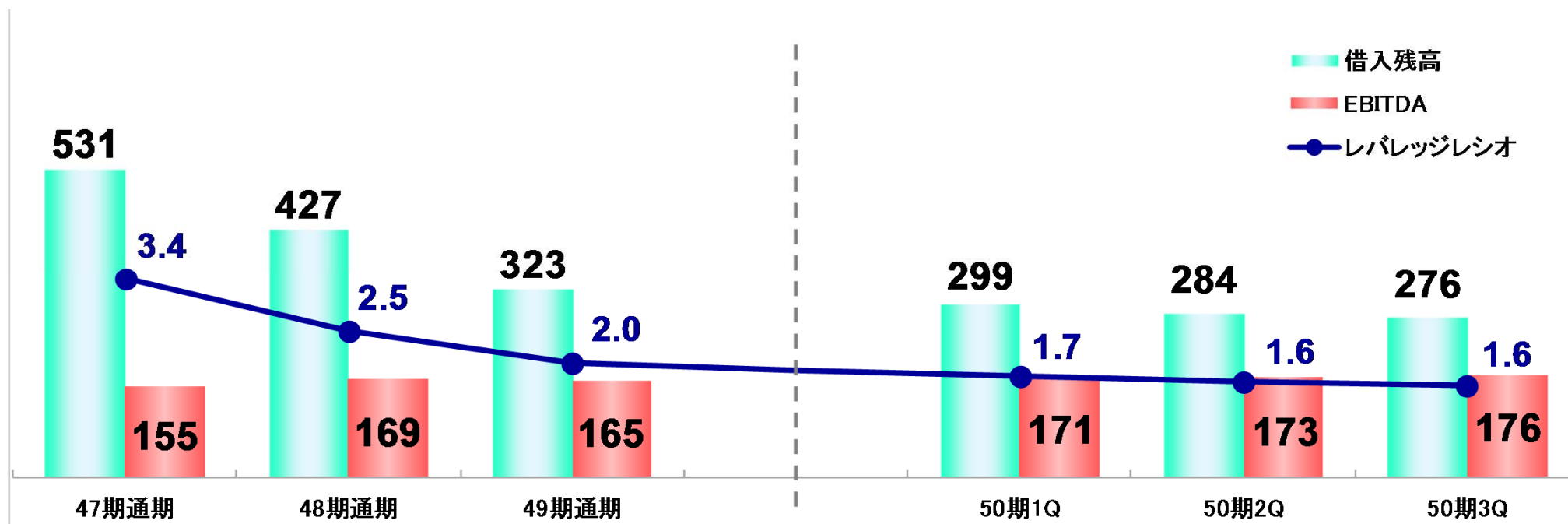
※フリーCF＝営業CF＋投資CF、CF合計＝フリーCF＋財務CF

<営業CF>	123	140	156	109	125
<投資CF>	▲54	▲40	▲33	▲33	▲43
<財務CF>	▲75	▲105	▲105	▲74	▲60

営業増益により営業CFが前年同期比で16億円増加、投資CF支出増加もリファイナンスによる財務CFの支出減少もありCF合計は前年同期比で21億円の増加

# || 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

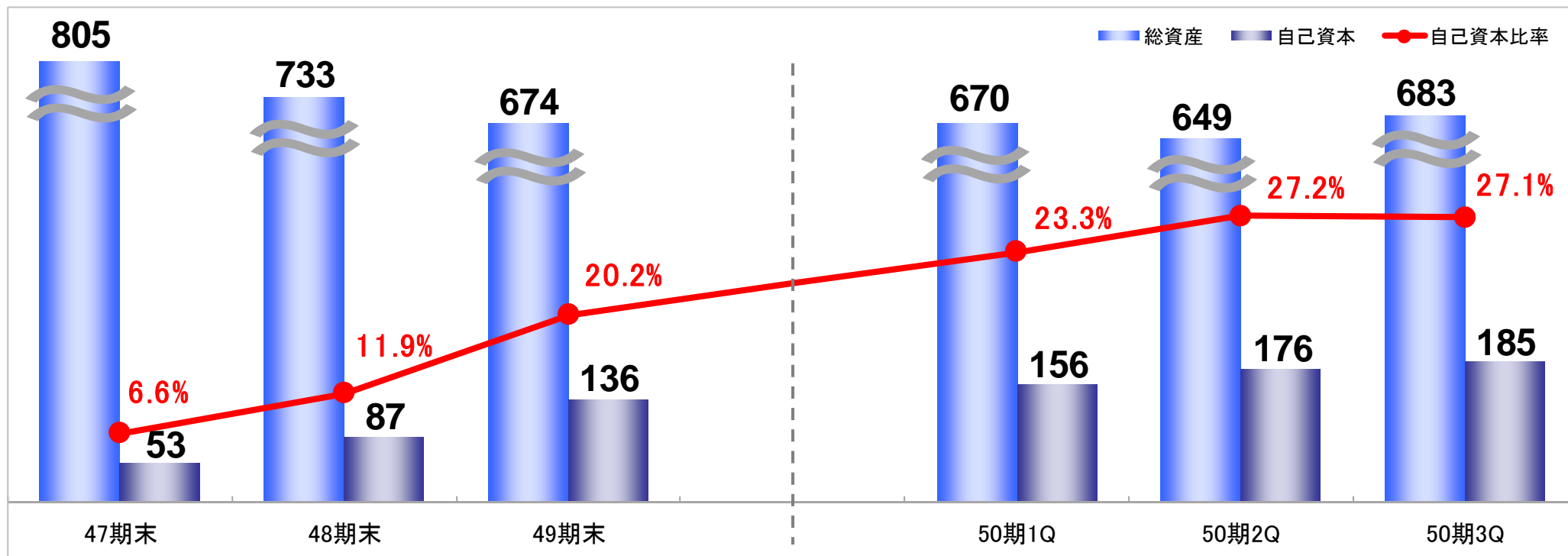
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

**営業増益が寄与した結果、直近12ヶ月のEBITDAは増加傾向、  
借入金返済も含めたレバレッジレシオは1.6倍で安定的に推移**

# 財務／経営指標関連 自己資本比率

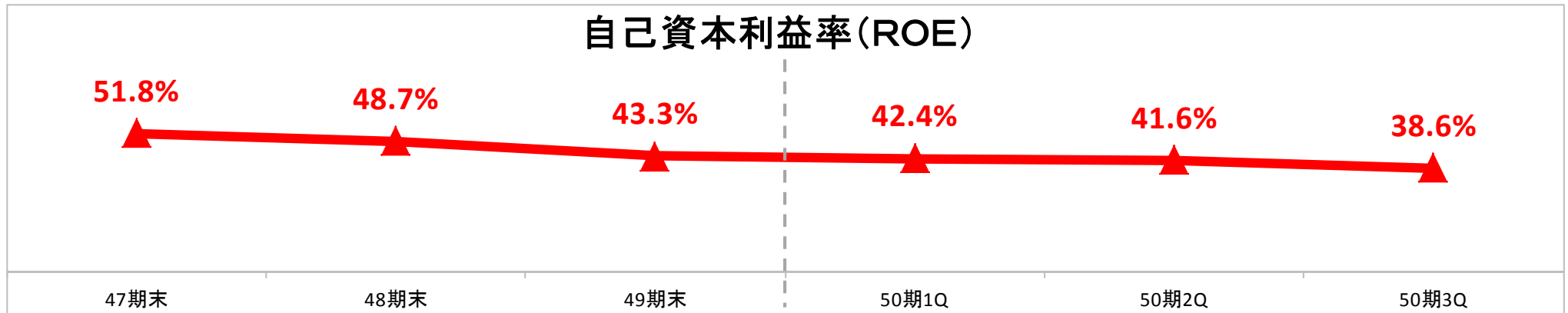
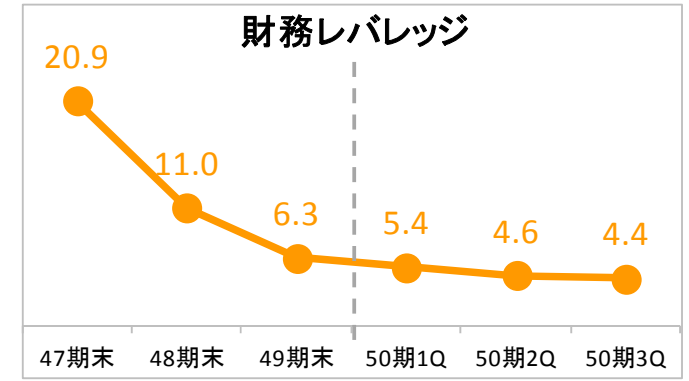
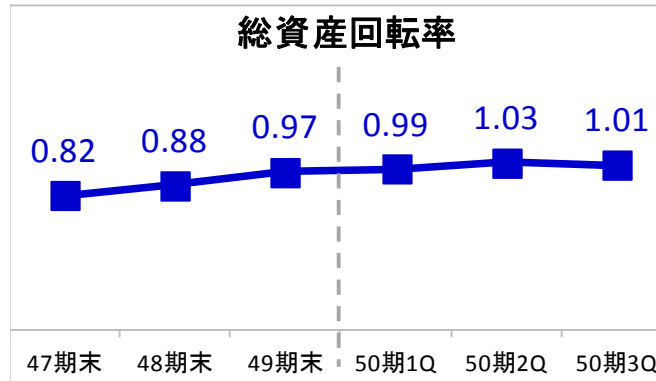
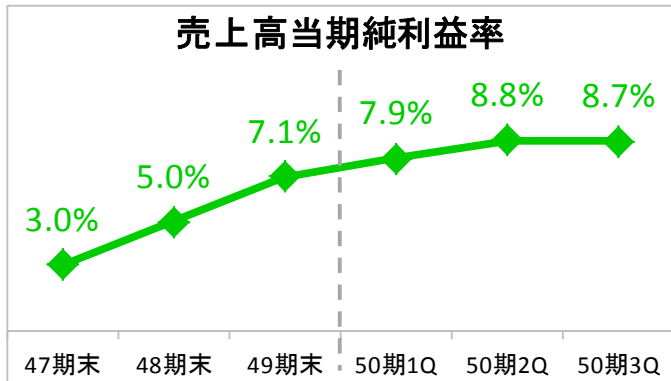
【億円、％】



※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

増収に伴う売上債権の増加等で総資産が増加も、  
着実な当期純利益の積み上げで自己資本比率は27.1%とほぼ横ばい

# || 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



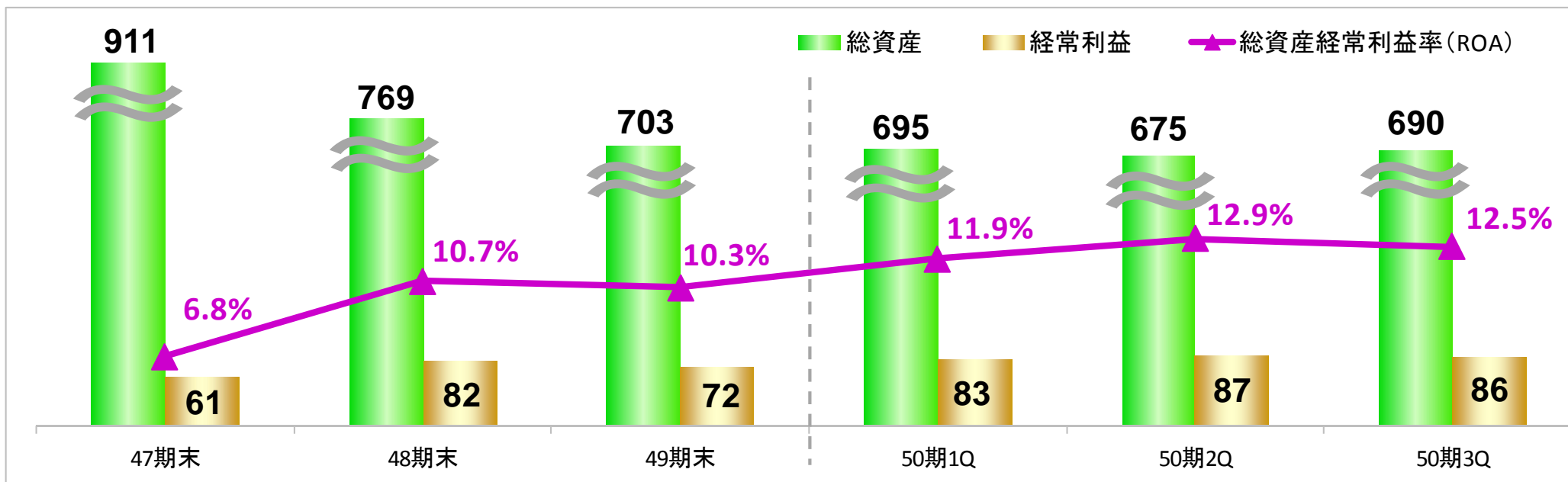
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※50期3Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は49期3Qと50期3Qの平均値

自己資本増強による財務安定性の向上で  
ROEは微減傾向ではあるものの高水準を維持して推移

# 財務／経営指標関連 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益 / 期中平均総資産 × 100

※50期3Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※50期3Qの期中平均総資産は49期3Qと50期3Qの平均値

売上債権の増加等に伴い期中平均総資産は微増、  
経常利益がほぼ横ばいで推移したためROAは微減

# || 事業関連 || 音楽配信事業(新サービス)

## ■2014年3月12日 音響機器ECサイト『USEN ONLINE STORE』をオープン

- USENが厳選した音響機器を展開し、お客様ひとりひとりに合った商品をオンライン上で提案
- 幅広い年齢層をターゲットに約800アイテムを取り揃えてスタート
- 全国150箇所以上の拠点にいる音場環境を熟知したUSENの専門技術スタッフが機器を設置

The screenshot shows the homepage of the USEN ONLINE STORE. At the top, there is a navigation bar with links for 'ログイン', '会員登録/修正', '注文履歴', 'ポイント', and 'お買いものガイド'. Below this is a search bar and a contact information section for the USEN Information Center, including a phone number (0120-117-440) and a note about free consultation. The main content area features a large banner image of a living room with a TV and speakers, with the text 'こだわりの逸品' (A carefully selected masterpiece). To the left of the banner is a sidebar with various navigation options like 'HOME', 'シーンから選ぶ', '特集', '商品カテゴリ', and 'メーカー検索'. Below the banner is a 'お知らせ' (Notice) section with three items: '2014/06/231台で3台分の仕事をするアンプ、オースミ Massive OE-M75を発売しました。', '2014/04/25MONSTERCABLEの商品の取り扱いをはじめました。', and '2014/04/01amadanaの商品の取り扱いをはじめました。'. At the bottom, there are two promotional boxes: one for '機器選びのお手伝いをいたします' (We will help you choose your equipment) and another for '音響機器の設置サービス' (Audio equipment installation service), which includes a list of services like '全国150ヶ所以上のサービス拠点' and 'ご相談・お見積り無料'.

## ■2年の歳月をかけて商品化した

オリジナルリモコンスピーカー『RS-01』

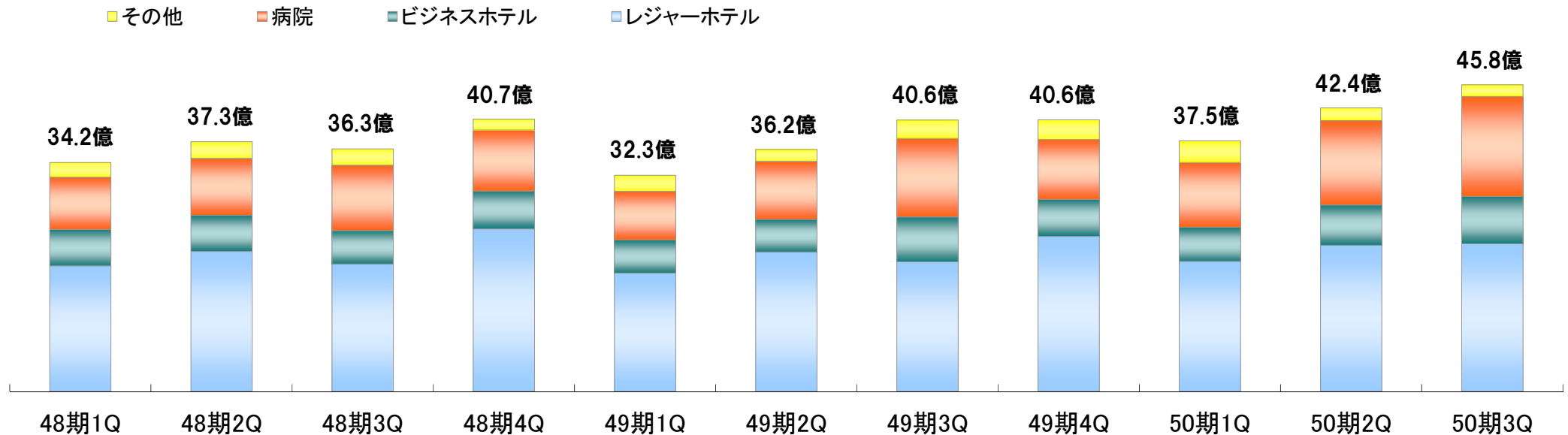
- ▶ ワイヤレス機能
- ▶ 防水機能
- ▶ リモコン機能
- ▶ 楽曲表示機能



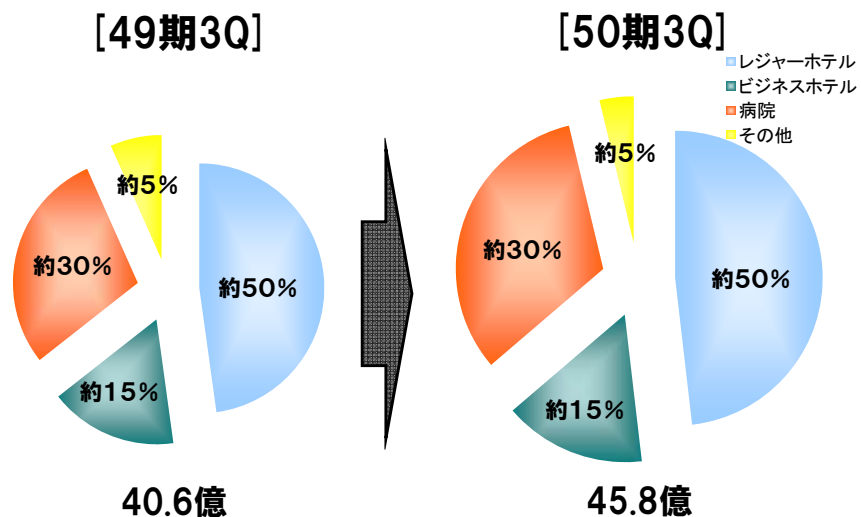
**USEN**  
USEN GROUP

# || 事業関連 || 業務用システム事業(売上ポートフォリオ)

## ■ 四半期推移



## ■ 前期比



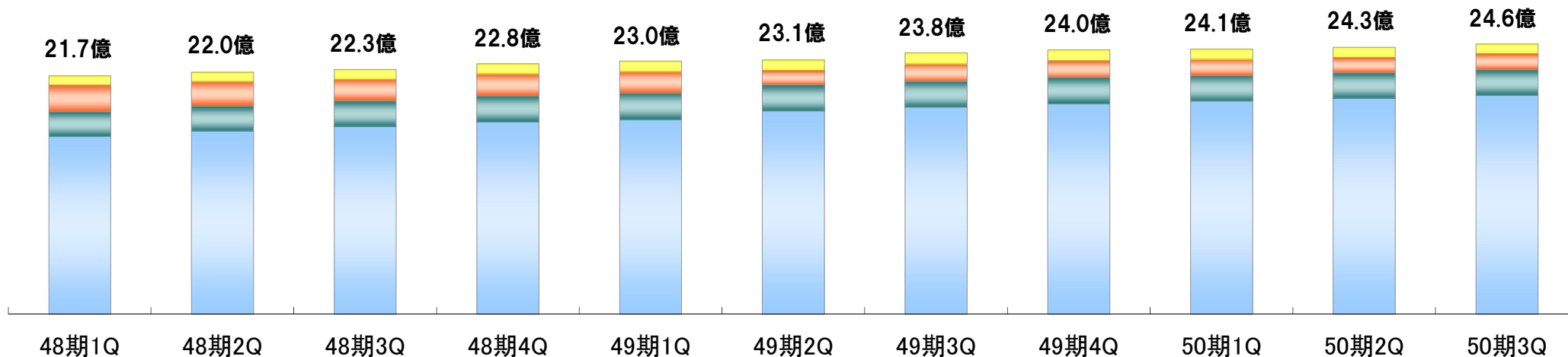
### ○ 消費税増税前の駆け込み需要もあり大幅な増収で着地

- 4月施行の消費税増税に向けた駆け込み需要が発生、病院とビジネスホテルにおいて前四半期比で大幅に増収
- レジャーホテルも前四半期に引き続き堅調に推移
- 2012年8月期以降で最高の四半期売上を計上

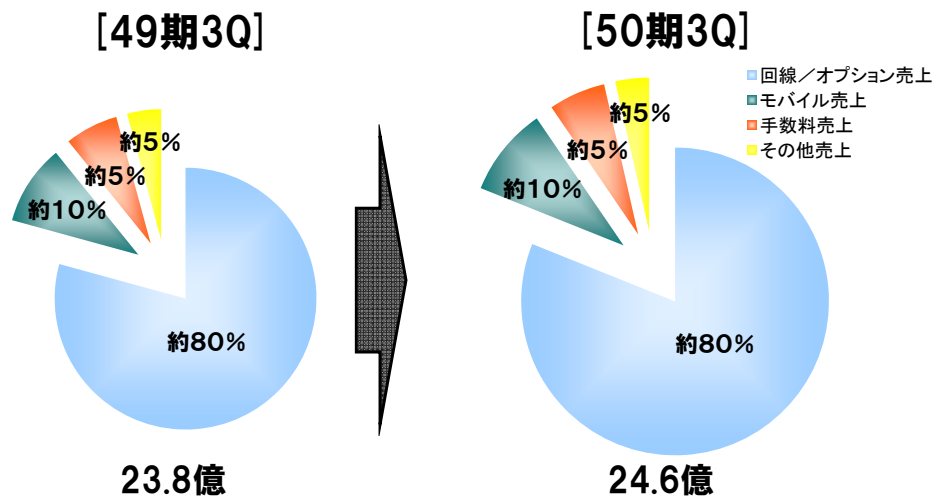
# || 事業関連 || ICT事業(売上ポートフォリオ)

## ■ 四半期推移

■ その他売上 ■ 手数料売上 ■ モバイル売上 ■ 回線／オプション売上



## ■ 前期比



### ○ 競争が厳しい事業環境も、引き続き増収基調は確保

- 回線／オプションサービスは引き続き増収基調を堅持
- その他の各売上ポートフォリオはほぼ横ばいでの推移
- 4月11日より、スマートデバイス管理ソリューションとしての新サービスである『モバイルマネージャー』の提供を開始

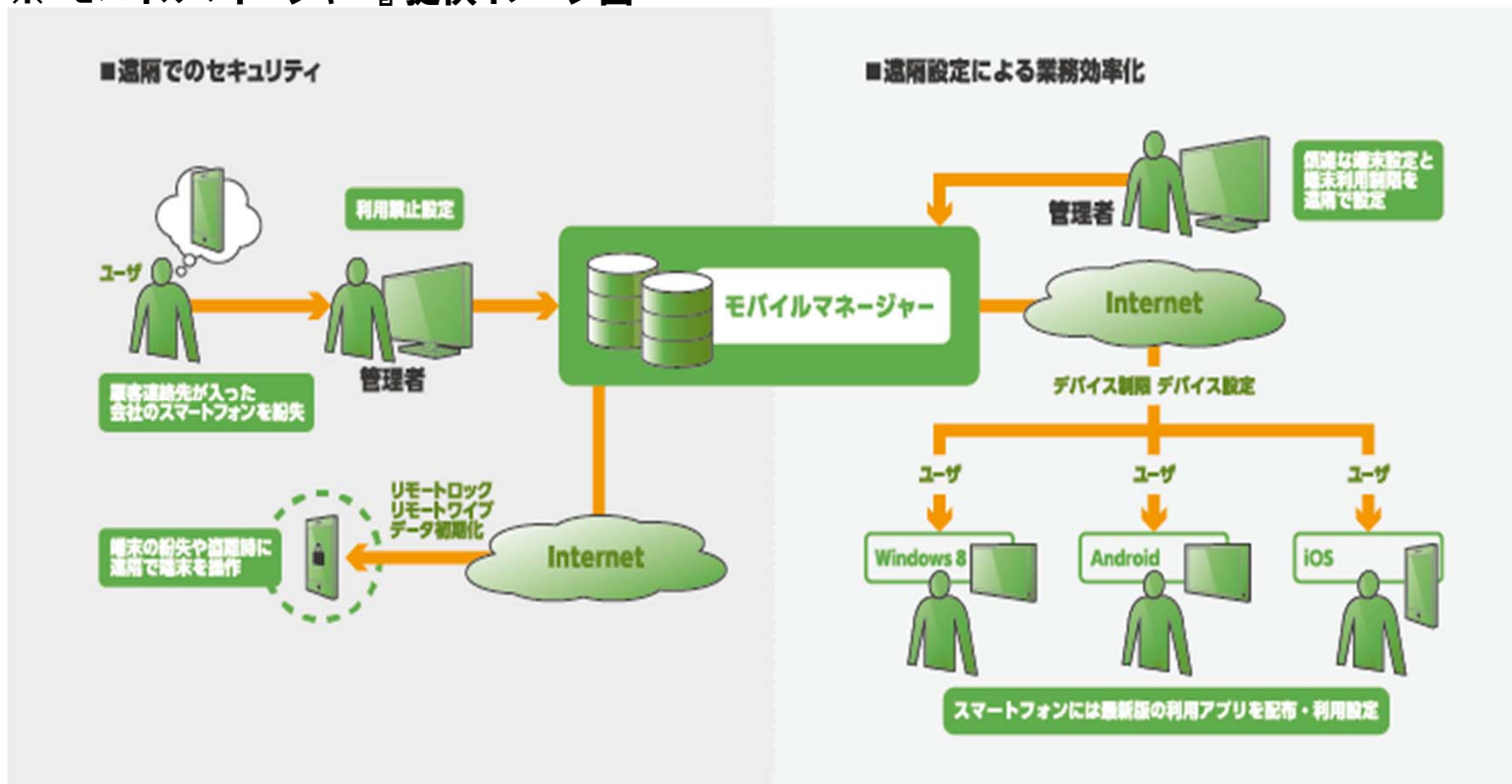


# || 事業関連 || ICT事業(新サービス)

## ■2014年4月11日 スマートデバイス遠隔管理ツール『モバイルマネージャー』の提供開始

- 近年、スマートデバイスをビジネス活用する企業が増加している一方で、紛失時における第三者の不正利用やデータ漏えいのリスク対策が課題となっているためその対策を含めたスマートデバイス管理のソリューションとして、貸与したデバイスを遠隔で管理する『モバイルマネージャー』の提供を開始

※『モバイルマネージャー』提供イメージ図



## >> 音楽配信事業関連

2014年3月 ●あべのハルカス展望台(ハルカス300)にオリジナルBGMをプロデュース

## >> グルメサイト「ヒトサラ」関連

2014年3月 ●iPhoneグルメアプリ『favoreat』をリリース

2014年3月 ●『料理人の顔が見えるヒトサラMAGAZINE』発売

## >> IR関連

2014年3月 ●臨時株主総会開催(※再掲)

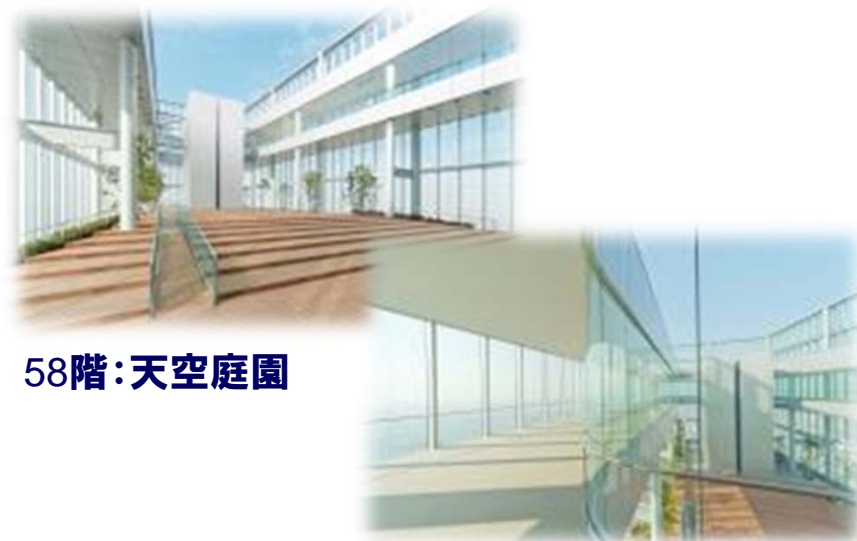
2014年4月 ●単元株式数を1単元10株から100株へ変更(※再掲)

2014年4月 ●R&Iより発行体格付としてBBB- (トリプルBマイナス)を取得

# || 第3四半期TOPIX || 音楽配信事業

▶▶ 2014年3月7日 あべのハルカスの展望台(ハルカス300)のオリジナルBGMをプロデュース

- ー フロアごとのテーマに沿った専用2チャンネルをプロデュース
- ー 同時に、あべのハルカス近鉄本店パウダールーム「HOUSE」では、産学連携を軸にしたBGMを導入
- ー お披露目コンサートを実施



58階:天空庭園

60階:天上回廊



◆日時：3月9日（日）13:00～14:00

◆場所：あべのハルカス近鉄本店2F 「ウェルカムギャラリー」

◆内容：HOUSEで流れる音楽は、フロアコンセプトに合った5曲をオーディションで選ばれた13人の大阪の学生が8つの楽器で演奏するため、あべのハルカス全面開業の2日後にお披露目コンサートを開催

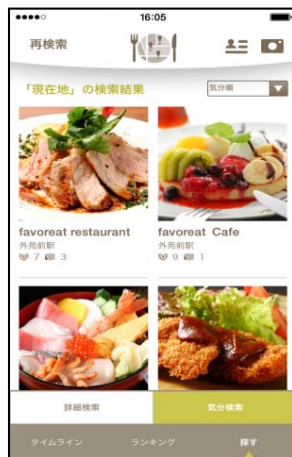
# || 第3四半期TOPIX || 集客支援事業

- ▶▶ 2014年3月3日 iPhoneグルメアプリ『favoreat』をリリース
- ▶▶ 2014年3月26日 『料理人の顔が見えるヒトサラMAGAZINE』発売

## 食べたい料理から選ぶグルメアプリ『favoreat』



jimoto (通勤場所・遊び場所・住んでいる場所) の  
オススメ料理を共有するグルメアプリ



## WEBを飛び出し初のMOOK本



# || 第3四半期TOPIX || IR関連

## ▶▶ 2014年3月28日 臨時株主総会開催（※再掲）

### ■決議事項

- 第1号議案 資本金の額の減少の件
- 第2号議案 資本準備金の額の減少の件
- 第3号議案 剰余金の処分の件
- 第4号議案 定款一部変更の件(1)
- 第5号議案 第三者割当による第2種優先株式発行の件
- 第6号議案 定款一部変更の件(2)
- 第7号議案 取締役1名選任の件

※全議案ともに原案どおり承認可決

## ▶▶ 2014年4月1日 単元株式数を1単元10株から100株へ変更（※再掲）

## ▶▶ 2014年4月11日 R&Iより発行体格付としてBBB<sup>-</sup>（トリプルBマイナス）を取得

- 今回の格付取得は、客観的な第三者の立場から適正な評価を得ることによって経営基盤である財務健全性や経営の透明性・信用力を高めるとともに、資金調達手段の多様性や安定化を図り事業機会に即した柔軟かつ機動的な資金調達を可能とすることが目的

## || 免責事項 ||

**本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。**

**本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。**

**本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。**